

* 今回のシンポジウムのねらい *

障害者権利条約が批准され、障害者差別解消法も施行される中、障害の有無にかかわらず誰もが望めば合理的な配慮のもと地域の普通学級で学ぶことができるという考え方で文科省は施策を進めており、普通学級に在籍する障害のある子どもがいる。一見インクルーシブ教育が進んでいるように思えるけれども「勉強についていけないから」「障害があるから」「他の生徒とコミュニケーションを取るのが難しいから」等の理由で分けた場での教育の対象となる子どもたちもいる。障害のある子どもとない子どもが分けられて、ともに学習したり交流したりする機会が減っている。また学力差によって普通学級にいる障害のある子が居場所を失うケースもある。

実際問題、インクルーシブ教育の実現はたやすいものではないけれども、ゆくゆくはどの子どもも卒業して社会に出ていかなければならないし、社会にいろいろな人がいるのであれば、教育現場も社会の縮図として位置付けていくべきではないだろうか。改めて「障害のある子どもとない子どもがともに育って地域に根ざしていく」ことに関して考えていき、インクルーシブ教育の推進につなげていきたい。



●第一部 基調講演

「障害のある子とない子が地域の学校でともに学ぶことを
目指す活動を通して」－石川県での実践から－
講師：徳田茂さん(白山・野々市つながりの会代表)

●第二部 パネルディスカッション

「ともに学び合うインクルーシブ教育とは」

コーディネーター：平井誠一(自立生活支援センター富山)

パネリスト：村上満先生(富山国際大学子ども育成学部・教授)

名原晶子さん(当事者家族)

浅木裕美(自立生活支援センター富山)

八島梨花(自立生活支援センター富山)

日時：2019年6月2日(日)

場所：サンシップとやま研修室601

時間：13時30分～16時

(13時受付開始)

参加費：無料

手話通訳・要約筆記が
必要な方は申込時
にお知らせください。

主催：NPO法人 自立生活支援センター富山

連絡先：富山市新川原町5-9 レジデンス新川原1階

電話：076-444-3753

FAX：076-407-5557

インクルーシブ教育を考えるシンポジウム
副題 ともに学び、ともに生きる教育の実践

教育シンポジウム参加申込用紙

申込み年月日	年 月 日
お名前	
連絡先	
参加人数	
手話通訳	必要(2週間前までにお申し込み下さい) ・ 不要
要約筆記	必要(2週間前までにお申し込み下さい) ・ 不要

申込み先 : Fax. 076-407-5557

メールでも申し込めます。メールアドレス : info@cil-toyama.com です。

(※お寄せいただいた個人情報はシンポジウムのためだけに使用します。)